

仙台高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	地域デザイン論	
科目基礎情報							
科目番号	0007			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	生産システムデザイン工学専攻			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	坂口 大洋						
到達目標							
地域デザインに関する基礎的知識、歴史的なデザインアプローチに対する理解、実践的なリサーチや可視化手法、デザイン手法などの理解と習得を目標とする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
地域デザイン の概念とデザイン手法を体系的に理解し、説明できる。		地域デザイン の概念とデザイン手法を体系的に理解し、説明できかつ実践的に展開できる。		地域デザイン の概念とデザイン手法を体系的に理解している。		地域デザイン の概念とデザイン手法を体系的に理解していない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
JABEE D1 専門分野に関する工業技術を理解し、応用する能力							
教育方法等							
概要		本授業は、地域デザイン の概念及び歴史的なアプローチ、地域資源に対するリサーチの方法、現代のデザイン手法における地域の捉え方、地域デザイン の実践的な手法などの理論と実例を通して、それらの学術的な背景・知識・技術などを理解し、習得を目指す。					
授業の進め方・方法		地域デザイン に関する過去の事例や文献を踏まえて、概念の歴史的な変遷やデザインアプローチの体系的な整理を説明し、理解する。また必要に応じてフィールドワークやグループワークなどにより、実際の地域デザイン の手法を共有し、その意図を実践的に理解する。 事前学習（予習）：毎回の授業前までに、授業で行う内容と意義を考えて整理しておくこと。 事後学習（復習）：毎回の授業後に、授業で学んだことを振り返り、今後へ活かす方法を考えること。					
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス及び文献紹介		授業の概要を理解する。		
		2週	講義と文献スタディ01 歴史的な集落とデザイン		歴史的な集落形成プロセスとデザインコード捉えるアプローチを理解する。		
		3週	講義と文献スタディ02 保存とコンヴァージョン		地域資源の保存とコンヴァージョンなどのデザイン手法を理解する。		
		4週	講義と文献スタディ03 創造都市とアクティビティ		国内外の創造都市の事例とアクティビティを活用した公共空間の展開を理解する。		
		5週	講義と文献スタディ04 過疎化と農山村の撤退論		過疎化及び限界集落化した地域計画・デザイン論を理解する。		
		6週	講義と文献スタディ05 サステナビリティと地域マネジメント		サステナビリティシティの事例と地域マネジメント手法を理解する。		
		7週	事例収集と地域デザイン論のプレゼンテーションの作成		課題に即した事例収集と評価軸を設定しプレゼンテーションを作成する。		
		8週	プレゼンテーション01		主に建築的な側面からの地域デザインの手法の検討とプレゼンテーションを行う。		
	2ndQ	9週	地域デザインとコミュニティ形成01 歴史的変遷		地域デザインにおけるコミュニティ形成の歴史的な変遷を理解する。		
		10週	地域デザインとコミュニティ形成02 現代社会におけるコミュニティ		地域デザインにおける現代社会とコミュニティ形成の意義を理解する。		
		11週	地域デザインとコミュニティ形成03制度的側面		地域デザインにおける制度的な側面からのコミュニティ形成		
		12週	先進的なコミュニティデザイン事例01		現代の実践的なコミュニティデザインの手法の理解と習得		
		13週	先進的なコミュニティデザイン事例02		現代の実践的なコミュニティデザインの手法の理解と習得		
		14週	事例収集と地域デザイン論のプレゼンテーションの作成		課題に即した事例収集と評価軸を設定しプレゼンテーションを作成する。		
		15週	プレゼンテーション01		主に都市的な側面からの地域デザインの手法の検討とプレゼンテーションを行う。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	現代社会における都市計画の課題の位置づけについて説明できる。		4	
				近現代都市の特質と課題について説明できる。		4	

				近代の都市計画論について説明できる。	4	
				現代にいたる都市計画論について説明できる。	4	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	30	0	0	0	0	30
専門的能力	0	60	0	0	0	0	60
分野横断的能力	0	10	0	0	0	0	10